

《第46回》楠小学校区 6町内子ども会(5) 「廃品回収」

育成会会長 井出 千奈 ・ 戸川 雅代

令和4(2022)6月19日(日)心配していたお天気も晴れ予報となり、無事今年度1回目となる廃品回収を行いました。

公園に集合し、事故や怪我に充分注意して回るようお願いし回収スタート。

低学年の子供達には主に公園で車で集めてきた荷物を下ろす作業を担当してもらい、高学年の子供達には公園近辺に出して頂いた分の回収を担当してもらいました。

事前に回覧板で案内をまわしていたので、たくさん出していただけていましたが、自治会からもたくさんお手伝いに来てくださったので、1時間程で回収を終えることができました。

梅雨時期で蒸し暑い中の作業となりましたが、子供達もカンを分別したり、紙類をトラックに運んだり、最後までしっかり作業を頑張ることができました。

お手伝いいただいた自治会の方々へきちんとお礼をし、ご褒美のジュースとお菓子をもらいました。

自分達が頑張って集めた資源が、自分達の今後の活動費となり地域貢献もできる。その意義も含めて今後も廃品回収を続けていきたいと思います。



低学年・高学年で役割分担
みんなしっかり作業を頑張りました。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



これだけたくさんの段ボール、缶が集まれば
作業は大変です。

保護者、そして地域の人々の協力は特にあり
がたいです。

 Kumamoto
for SDGs

トラックにいっぱい集まり、
みんなでお見送り



皆さんご協力ありがとうございました。
お疲れ様でした。



《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 早速の活動報告ありがとうございました。写真はきれいで、しかも活動の様子がよくわかります。低学年・高学年で役割分担をすることで、それぞれ、より責任感が培われ、本人たちもやり遂げたという充実感を味わったことだと思います。
- ② 回覧で町内に回収のお知らせをして協力を依頼したり、自治会の方々が手伝ってくださったりと町内あげての活動になり、地域の人たちとの絆が定着しているようで素晴らしいですね。子ども会活動で、この様に地域の皆さんと交流することで、子どもたちは知らず知らずに大人から学ぶこともあると思います。今後も機会ある毎に、地域の皆さんと交流できる活動を続けて下さい。
先日の総会時の田中晶子先生の講演で、『子ども会活動は ・人とのつながりの中で成長する機会を与えてくれる（友人、親、兄弟、地域の人たち）』とありました。特別意識はしていなくても、子ども会活動をすることによって周りの人と接して子どもたちは成長していくのだと思います。
- ③ 廃品回収（リサイクル活動）は、収益は子ども会活動の資金にもなるでしょうが、地球にも優しい活動です。子ども会の活動としては小さな一歩ですが、地球にとってはその意義は大きい一歩です。これからの活動で、さらに廃品回収の意義についても子どもたちが意識しておく、子どもたちの取り組み方もまた違ったものになるのではないかと思います。